

# 文京区立第九中学校 校長室通信

## 「文京九中 ここにあり」



平成28年度 第10号  
平成29年2月17日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝  
 ■ TEL 03-3821-7178 ■ FAX 03-5685-4955  
 ■ HP <http://www.bunkyo-tyk.ed.jp/daikyuu-jh/>

### 学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

先般、ご協力いただきました学校評価アンケートがまとまりましたので、その結果をお知らせいたします。

調査結果は、「とてもそう思う」「おおむねそう思う」を肯定的評価、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的評価として、「わからない」「不明」を除いた数値に換算しています。

特に注目すべき項目として、「子どもを九中に入学させて良かった」という項目で保護者92.0%、「教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」で保護者91.5%、生徒90.7%、「学校が楽しいと感じる」で保護者89.4%、生徒86.7%、何より、本校の二大行事である「運動会は充実していた」で保護者93.5%、生徒92.9%、「学習発表会は充実していた」で保護者95.5%、生徒91.2%、他にも特色ある教育活動として実施している専門家による交流授業・講演会等で高い評価を得たことは、教職員一同にとってありがたく、心強い限りです。

また、全体を見れば、保護者の40項目中「肯定的評価が90%以上」が10項目、「80%以上」が19項目、生徒の35項目中「肯定的評価が90%以上」5項目、「80%以上」が23項目と、全体の約3/4の項目で80%以上を示しています。さらに、全体平均値の昨年度との比較においても、保護者が±0.0%、生徒が-0.5%と、ほぼ同等の数値を示していることから、一定の評価をいただいているととらえているところです。

しかしながら、本来は100%を目指すべき項目や、評価が低い項目も散見されることから、今後より一層の充実に向けて具体的な改善策を講じていく必要性を感じています。特に、昨年度から大幅に上昇してはいるものの、絶対値としてはまだまだ低位にある「電子黒板等の効果的な活用方法」や、特色ある教育活動の一環として行っている「東大生による学習教室」の工夫・改善等については、来年度の最重点課題として取り組んでいく所存です。

今後、更なる教育活動の充実を目指して教職員一同、一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き第九中学校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〔凡例〕

□ とてもそう思う

▨ おおむねそう思う

□ あまり思わない

■ 思わない

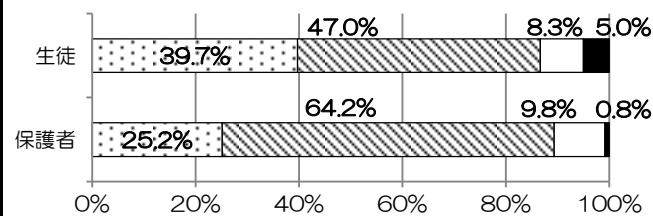
※ 表中の数値は、「わからない」「不明」の回答を除いた比率に換算しています。

※ 「生徒」及び「保護者」欄の数値は、「とてもそう思う」と「おおむねそう思う」の肯定的評価の合計値を表しています。

※ その下の「昨年比」の数値は、昨年度調査と同じ項目について、比較したものを表しています。

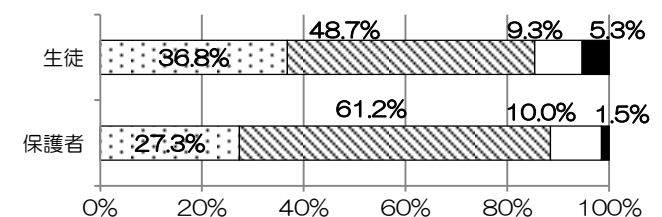
※ 数値は、小数点第1位を四捨五入しているため、肯定的評価の合計値が一致しない場合もあります。

#### 2 学校が楽しいと感じる



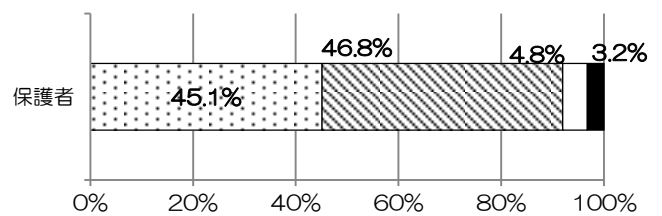
生徒	86.7%	保護者	89.4%
昨年比	0.0%	昨年比	-3.3%

#### 1 学校生活に満足している



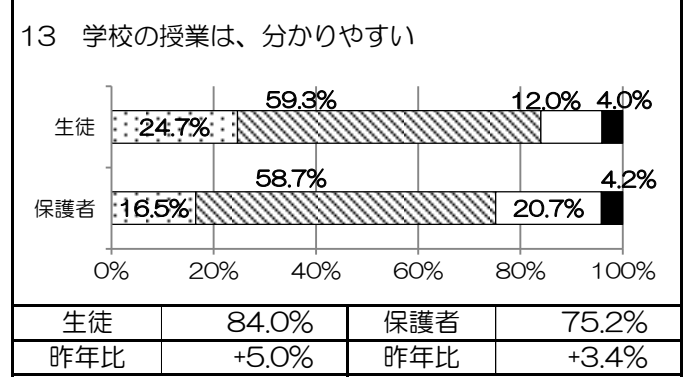
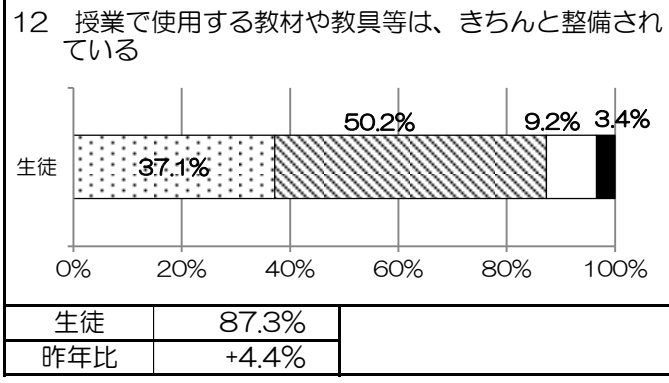
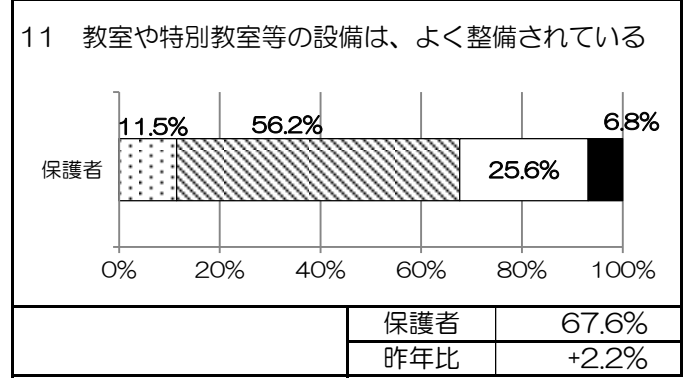
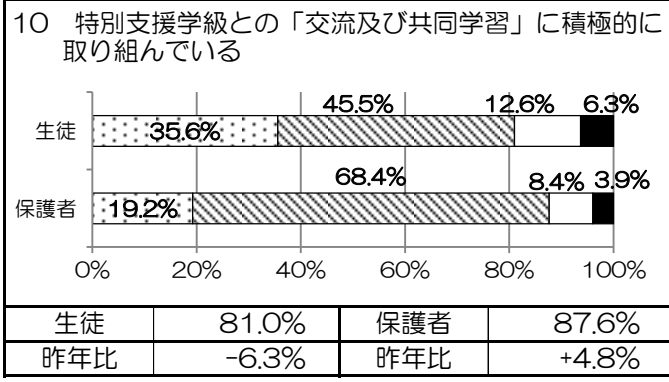
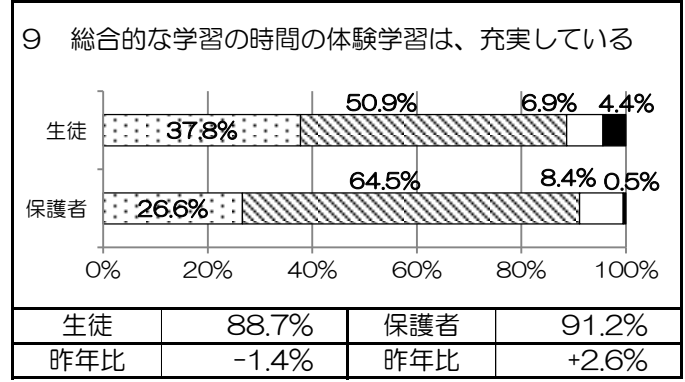
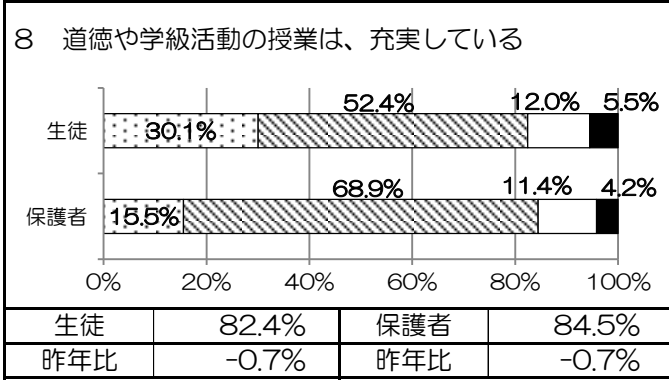
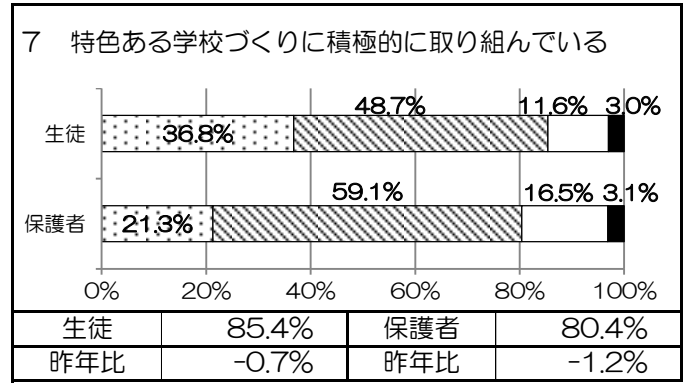
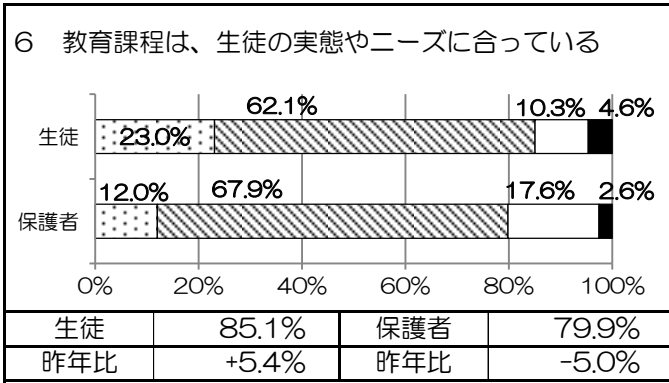
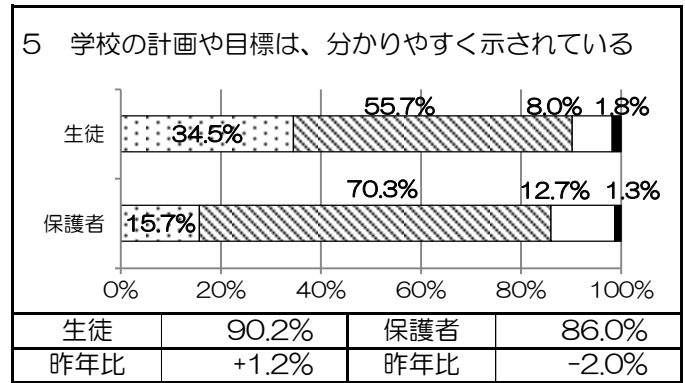
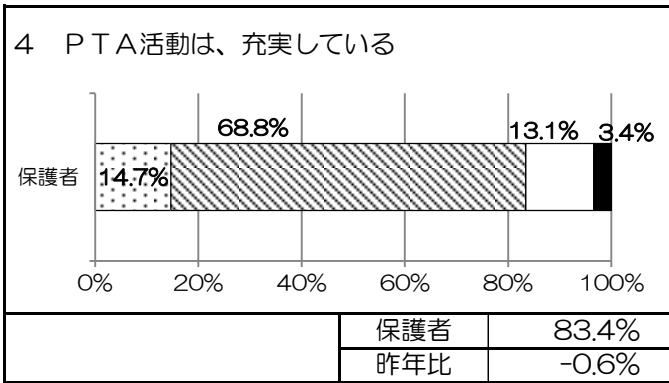
生徒	85.4%	保護者	88.5%
昨年比	-2.4%	昨年比	-1.1%

#### 3 子どもを九中に入学させて良かった

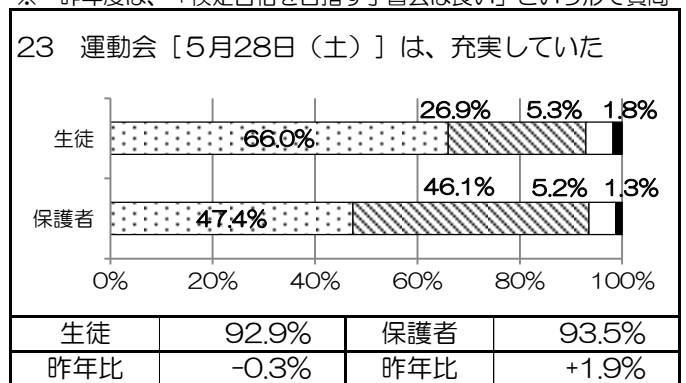
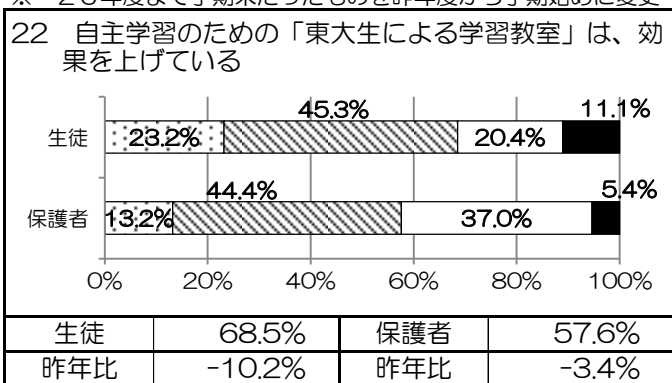
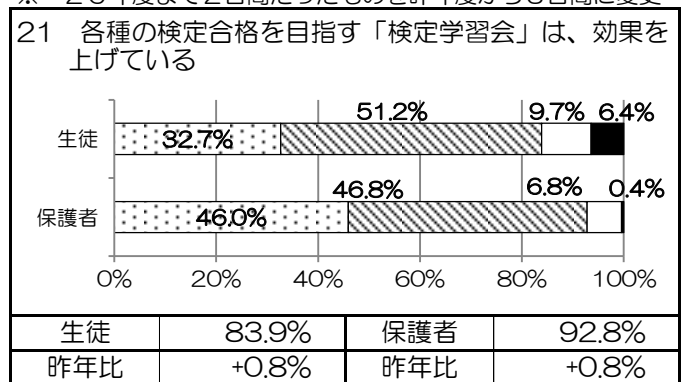
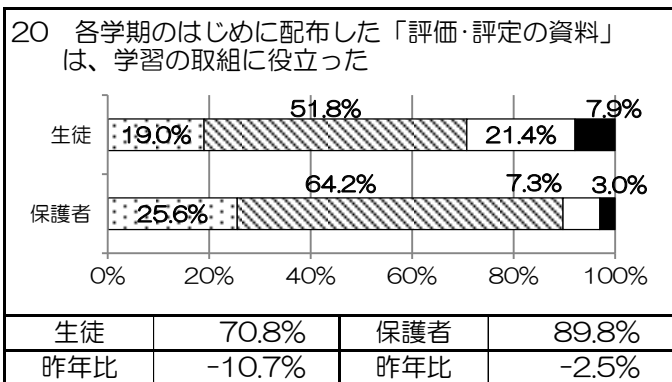
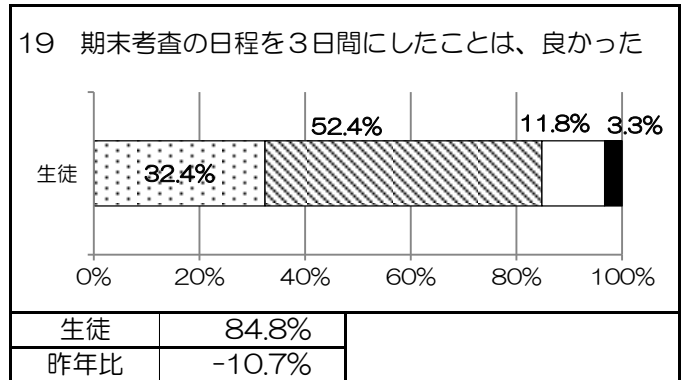
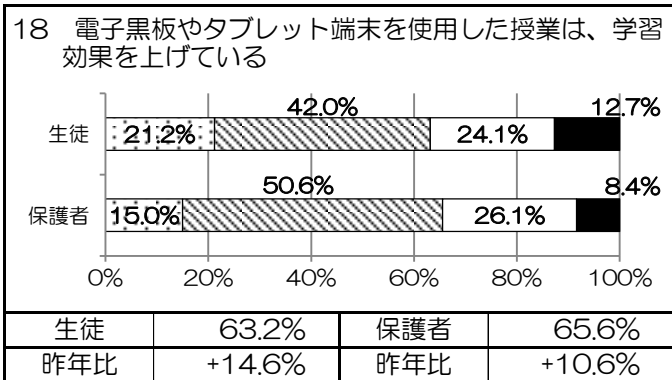
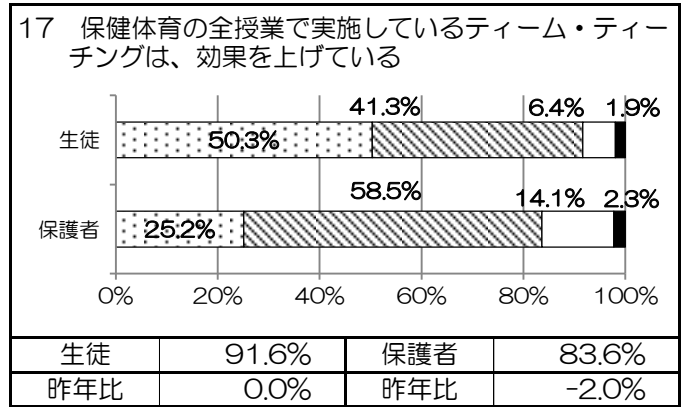
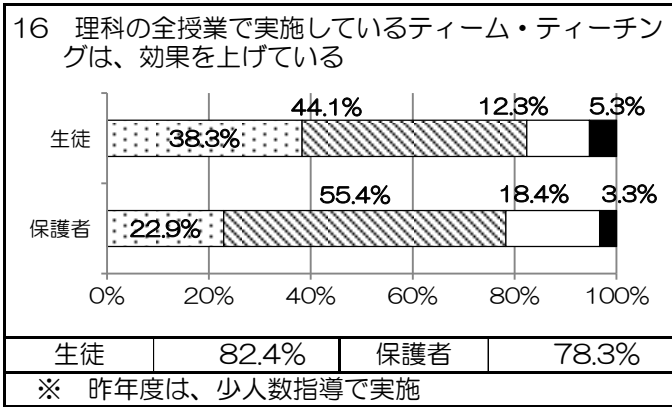
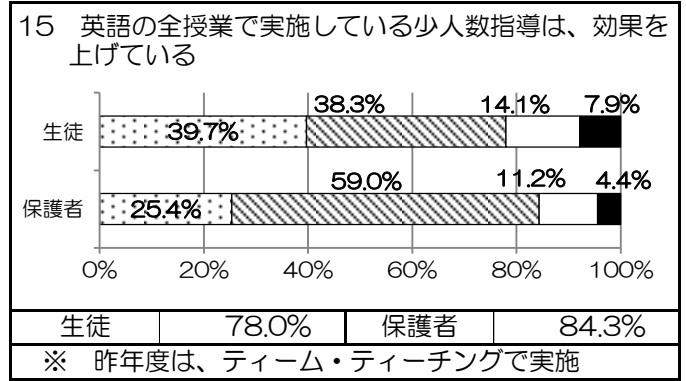
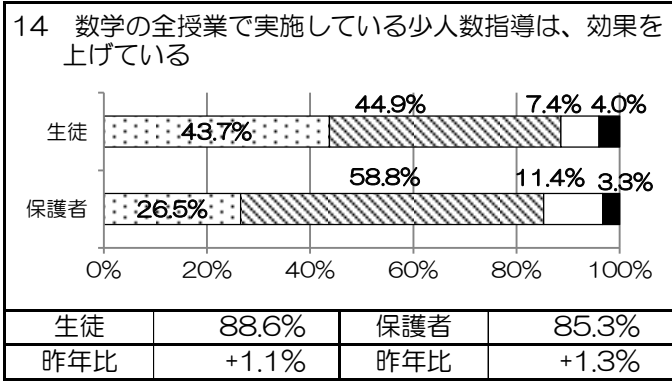


保護者	92.0%
昨年比	-1.8%

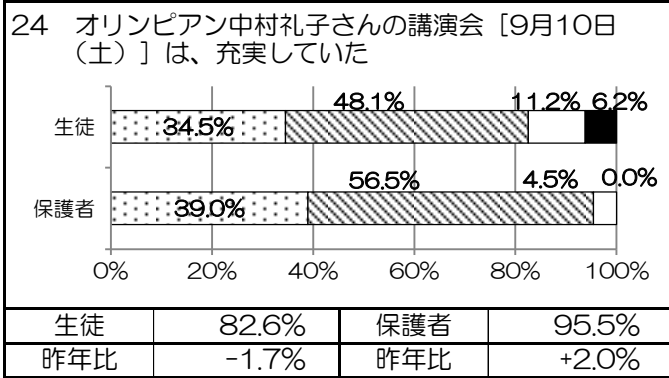
とてもそう思う
 
 おおむねそう思う
 
 あまり思わない
 
 思わない



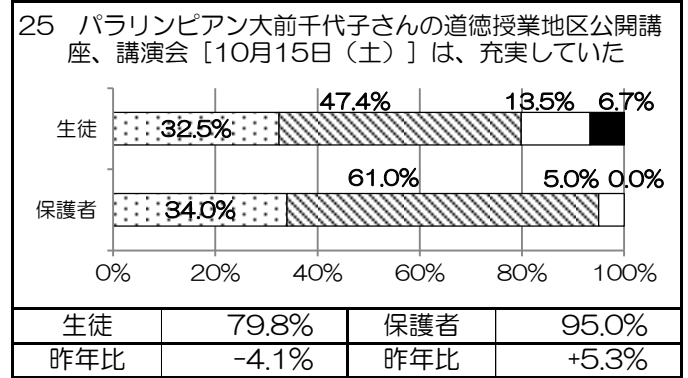
□ とてもそう思う ■ おおむねそう思う □ あまり思わない ■ 思わない



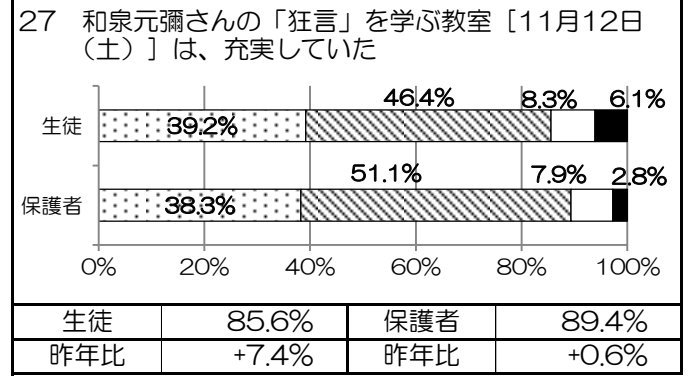
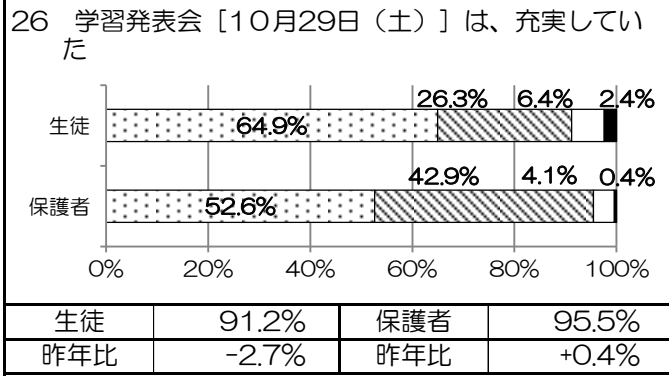
とてもそう思う
 
 おおむねそう思う
 
 あまり思わない
 
 思わない



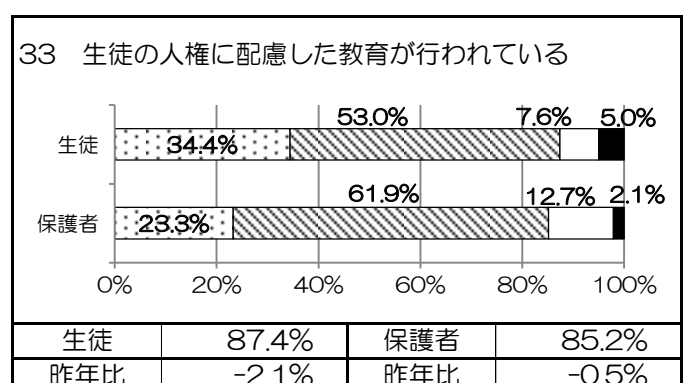
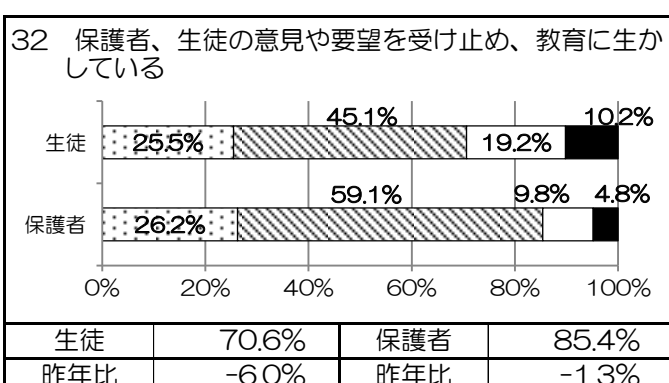
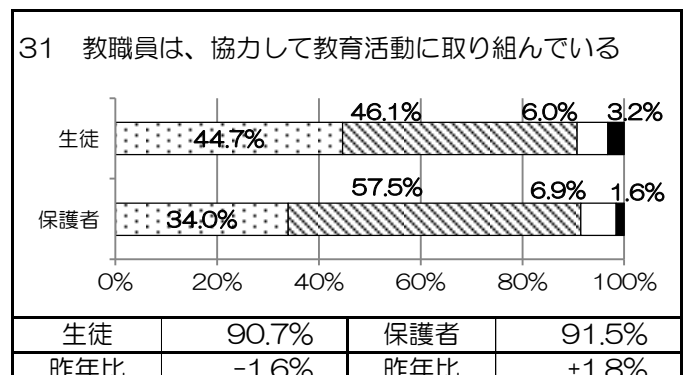
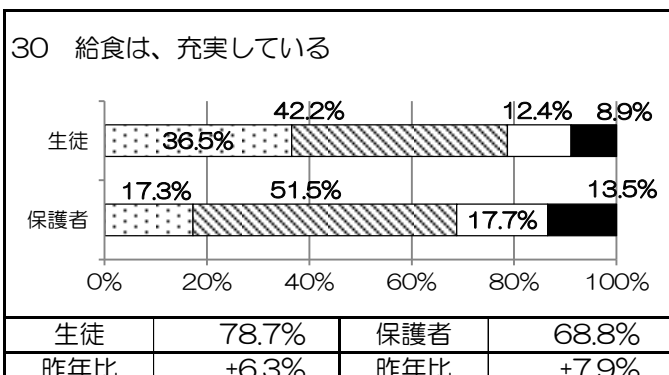
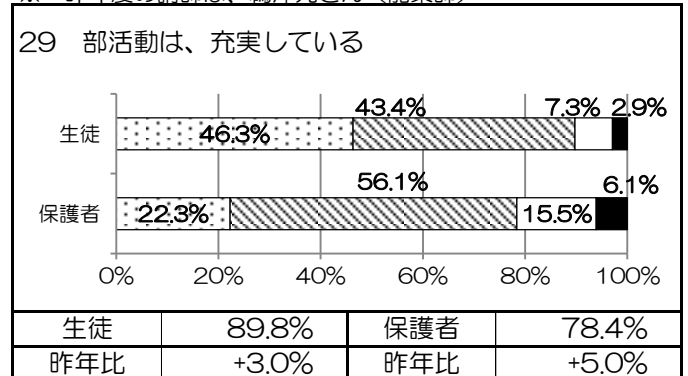
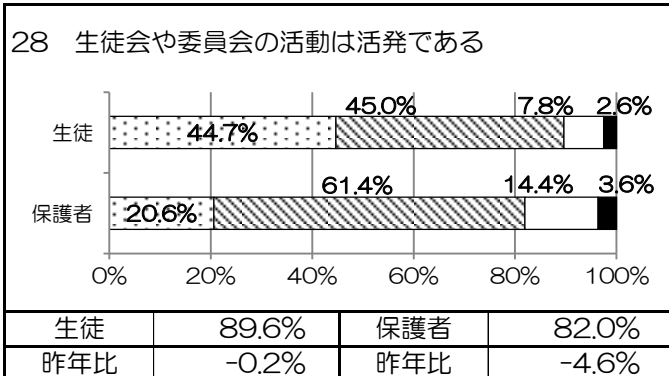
※ 昨年度の講師は、杉山祥子さん（女子バレーボール）



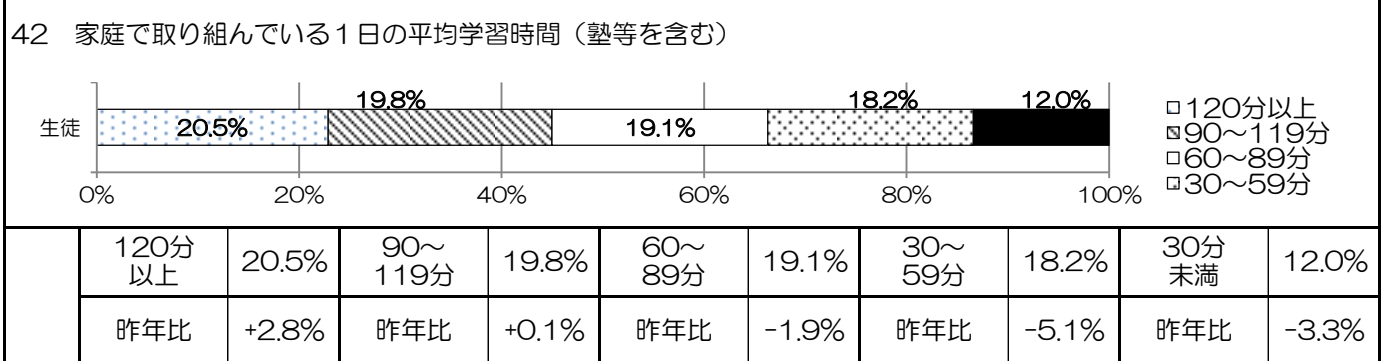
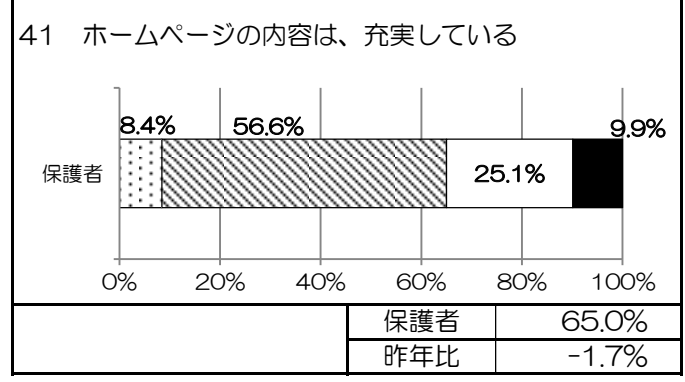
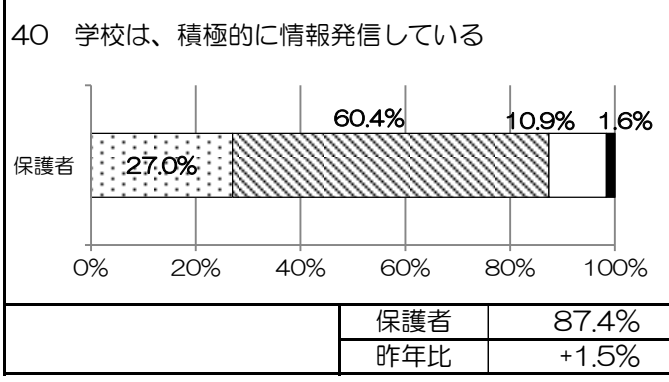
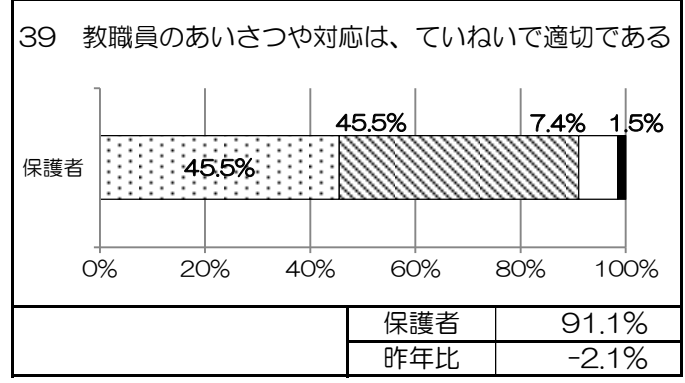
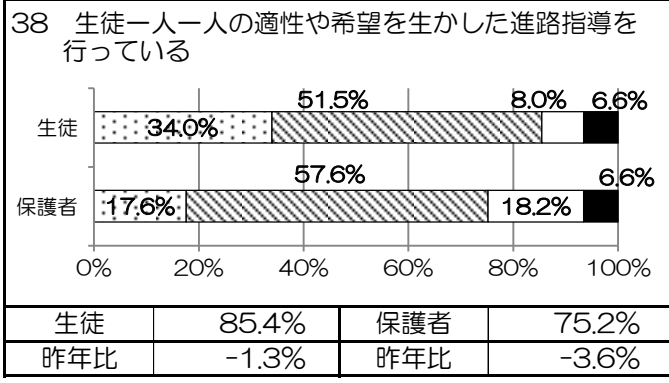
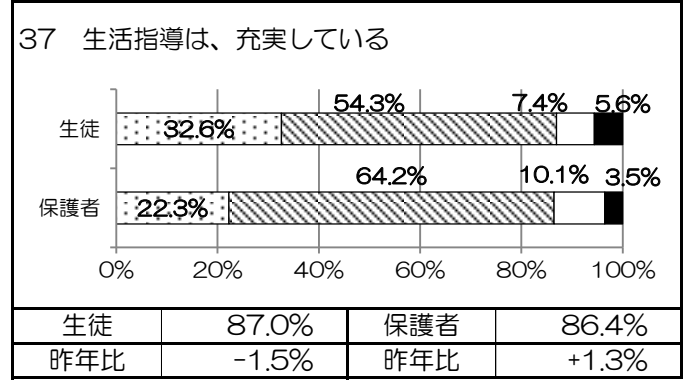
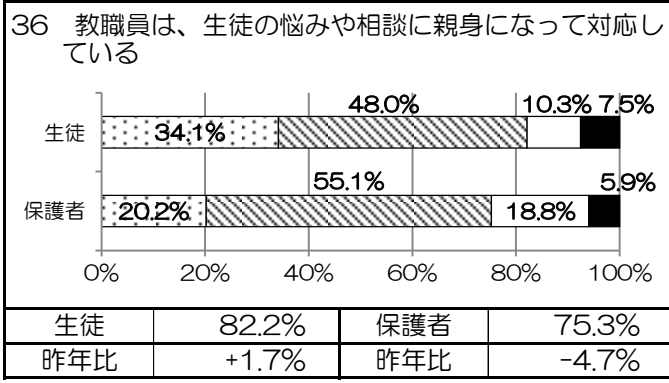
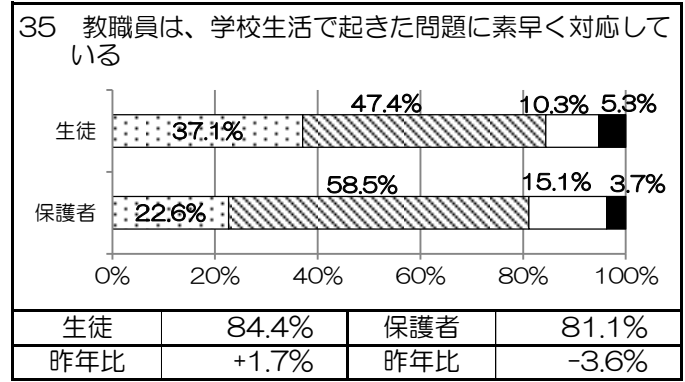
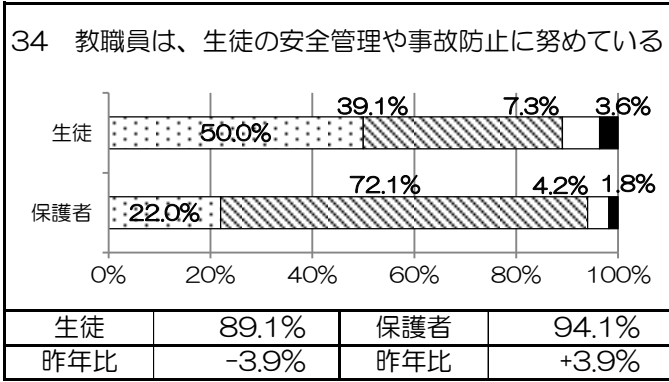
※ 昨年度の講師は、高橋勇市さん（視覚障害者マラソン）



※ 昨年度の講師は、鶴澤光さん（能楽師）



とてもそう思う
 
 おおむねそう思う
 
 あまり思わない
 
 思わない



※ 「不明」の回答があるため、昨年比の「+」と「-」の数値が合致しません。何とぞご了承ください。

保護者の「肯定的評価（「とてもそう思う」と「おおむねそう思う」の合計値）」を数値の高い順に並べたもの	保護者 肯定的回答	昨年度 との比較
オリンピック中村礼子さんの講演会〔9月10日（土）〕は、充実していた	95.5%	+2.0%
学習発表会〔10月29日（土）〕は、充実していた	95.5%	+0.4%
パラリンピアン大前千代子さんの道徳講演会等〔10月15日（土）〕は、充実していた	95.0%	+5.3%
教職員は、生徒の安全管理や事故防止に努めている	94.1%	+3.9%
運動会〔5月28日（土）〕は、充実していた	93.5%	+1.9%
各種の検定合格を目指す「検定学習会」は、効果を上げている	92.8%	+0.8%
子どもを九中に入学させて良かった	92.0%	-1.8%
教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる	91.5%	+1.8%
総合的な学習の時間の体験学習は、充実している	91.2%	+2.6%
教職員のあいさつや対応は、ていねいで適切である	91.1%	-2.1%
各学期のはじめに配布した「評価・評定の資料」は、学習の取組に役立った	89.8%	-2.5%
学校が楽しいと感じる	89.4%	-3.3%
和泉元彌さんの「狂言」を学ぶ教室〔11月12日（土）〕は、充実していた	89.4%	+0.6%
学校生活に満足している	88.5%	-1.1%
特別支援学級との「交流及び共同学習」に積極的に取り組んでいる	87.6%	+4.8%
学校は、積極的に情報発信している	87.4%	+1.5%
生活指導は、充実している	86.4%	+1.3%
学校の計画や目標は、分かりやすく示されている	86.0%	-2.0%
保護者、生徒の意見や要望を受け止め、教育に生かしている	85.4%	-1.3%
数学の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	85.3%	+1.3%
生徒の人権に配慮した教育が行われている	85.2%	-0.5%
期末考査の日程を3日間にしたことは、良かった	84.8%	-10.7%
道徳や学級活動の授業は、充実している	84.5%	-0.7%
英語の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	84.3%	-
保健体育の全授業で実施しているチーム・ティーチングは、効果を上げている	83.6%	-2.0%
PTA活動は、充実している	83.4%	-0.6%
生徒会や委員会の活動は活発である	82.0%	-4.6%
教職員は、学校生活で起きた問題に素早く対応している	81.1%	-3.6%
特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる	80.4%	-1.2%
教育課程は、生徒の実態やニーズに合っている	79.9%	-5.0%
部活動は、充実している	78.4%	+5.0%
理科の全授業で実施しているチーム・ティーチングは、効果を上げている	78.3%	-
教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している	75.3%	-4.7%
学校の授業は、分かりやすい	75.2%	-3.6%
生徒一人一人の適性や希望を生かした進路指導を行っている	75.2%	-3.6%
給食は、充実している	68.8%	+7.9%
教室や特別教室等の設備は、よく整備されている	67.6%	+2.2%
電子黒板やタブレット端末を使用した授業は、学習効果を上げている	65.6%	+10.6%
ホームページは、内容が充実している	65.0%	-1.7%
自主学習のための「東大生による学習教室」は、効果を上げている	57.6%	-3.4%

生徒の「肯定的評価（「とてもそう思う」と「おおむねそう思う」の合計値）」を数値の高い順に並べたもの	生徒 肯定的回答	昨年度 との比較
運動会〔5月28日（土）〕は、充実していた	92.9%	-0.3%
保健体育の全授業で実施しているチーム・ティーチングは、効果を上げている	91.6%	0.0%
学習発表会〔10月29日（土）〕は、充実していた	91.2%	-2.7%
教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる	90.7%	-1.6%
学校の計画や目標は、分かりやすく示されている	90.2%	+1.2%
部活動は、充実している	89.8%	+3.0%
生徒会や委員会の活動は活発である	89.6%	-0.2%
教職員は、生徒の安全管理や事故防止に努めている	89.1%	-3.9%
総合的な学習の時間の体験学習は、充実している	88.7%	-1.4%
数学の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	88.6%	+1.1%
生徒の人権に配慮した教育が行われている	87.4%	-2.1%
授業で使用する教材や教具等は、きちんと整備されている	87.3%	+4.4%
生活指導は、充実している	87.0%	-1.5%
学校が楽しいと感じる	86.7%	0.0%
和泉元彌さんの「狂言」を学ぶ教室〔11月12日（土）〕は、充実していた	85.6%	+7.4%
学校生活に満足している	85.4%	-2.4%
特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる	85.4%	-0.7%
生徒一人一人の適性や希望を生かした進路指導を行っている	85.4%	-1.3%
教育課程は、生徒の実態やニーズに合っている	85.1%	+5.4%
期末考査の日程を3日間にしたことは、良かった	84.8%	-10.7%
教職員は、学校生活で起きた問題に素早く対応している	84.4%	+1.7%
学校の授業は、分かりやすい	84.0%	+5.0%
各種の検定合格を目指す「検定学習会」は、効果を上げている	83.9%	+0.8%
オリンピック中村礼子さんの講演会〔9月10日（土）〕は、充実していた	82.6%	-1.7%
道徳や学級活動の授業は、充実している	82.4%	-0.7%
理科の全授業で実施しているチーム・ティーチングは、効果を上げている	82.4%	-
教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している	82.2%	+1.7%
特別支援学級との「交流及び共同学習」に積極的に取り組んでいる	81.0%	-6.3%
パラリンピアン大前千代子さんの道徳講演会等〔10月15日（土）〕は、充実していた	79.8%	-4.1%
給食は、充実している	78.7%	+6.3%
英語の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	78.0%	-
各学期のはじめに配布した「評価・評定の資料」は、学習の取組に役立った	70.8%	-10.7%
保護者、生徒の意見や要望を受け止め、教育に生かしている	70.6%	-6.0%
自主学習のための「東大生による学習教室」は、効果を上げている	68.5%	-10.2%
電子黒板やタブレット端末を使用した授業は、学習効果を上げている	63.2%	+14.6%

【全項目平均値の前年度との比較】

	保護者	生徒
平成28年度平均値	83.6%	83.9%
平成27年度との差	0.0%	-0.5%

## 九中の特色！「新聞への意見文」投稿 ～3学期掲載分の紹介（その1）～

※ 毎日新聞「みんなの広場」 平成29年2月7日（火）掲載

### 相手の気持ちを思いやろう

中学生 高木 美菜（14） 東京都文京区 [2年3組]

先日読んだ新聞に、電車で席を譲る側も譲られる側も、互いの気持ちを思いやろうという記事があった。

そこで私は、相手への配慮や気遣いについて考えてみた。以前、電車に乗っていたとき、優先席の前にキャリーバッグをもった妊婦さんが立っていた。しかし、優先席に座っていた方は、スマホに集中していて、全く譲る気配がなかった。私の学校の先生は、自分が妊娠していたとき、立っているのもつらいくらいだったとおっしゃっていた。だからそれを見て、なぜ譲らないのかと思った。しかし、そういった気持ちも、自分で体験したり、人に話を聞いたりしたことがないと、思いつかないのかもしれない。人の気持ちを、理解するのは難しい。最近では、SNSなどで、小さな誤解からトラブルにつながることも増えているそうだ。私たちは今一度、思いやりをもった行動を心がけるべきではないだろうか。

※ 東京新聞「若者の声」 平成29年2月15日（水）掲載

### 歩きスマホの危険に気付く

中学生 増子 瑞稀（14） 東京都文京区 [2年3組]

新聞の投稿欄で、歩きスマホを野放しにしてはいけないという意見を読んだことがある。私も歩きスマホの危険さを実感することがあったので、やってはいけないと思う。

以前、私が歩きスマホをしながら道路を横断していたとき、歩くスピードが遅くなり、知らない間に信号が赤に変わっていたことがあった。私は通行を妨げ、とても迷惑をかけていたことに後から気づいた。

今はスマホ依存の人が多く、街を歩く人たちはほとんどがスマホの画面を見ながら下を向いて歩いている。事故が起きてからでないと、その危険に気づかないのだろうか。

歩きスマホは本当に危険だ。自分の未来のためにも、気をつけようと改めて感じた。

※ 東京新聞「若者の声」 平成29年2月15日（水）掲載

### 伝統文化体験 面白さに開眼

中学生 鈴木 萌友（13） 東京都文京区 [1年2組]

校外学習で浅草を訪れ、伝統文化の面白さや素晴らしさに気づいた。最も印象深いのが寄席だ。

落語は江戸時代から続く文化だが、校外学習に行くまでは興味がなく、つまらない話を長々とするイメージしかなかった。しかし、本物の落語を見ると、まったく飽きない面白さがあった。

動きの一つ一つに工夫がされていて、とてもひかれた。登場人物の年齢や立場によって上や下を向いて話したり、声色を変えたりして一人二役を演じていた。

また、日常的な生活が題材になり、話していることが目に浮かぶようだった。

これからも東京ならではの伝統文化に親しみ、その良さを伝えていきたいと思う。機会があれば、また寄席を見に行きたい。

## 平成28年度保幼小中連携実践発表会が開催されます

文京区教育委員会では、保育園・幼稚園・小学校・中学校の円滑な接続と「小1問題」「中1ギャップ」の未然防止を図るため、各学校・園が連携した教育課程の改善、相互交流の充実に努めています。今年度も次の要領で取組の成果を発表する会が開催されますので、興味・関心のある方はぜひご参加ください。なお、申込は不要です。直接会場にお越しください。

- ◆ 日時 平成29年2月27日（月）14時～16時15分
- ◆ 会場 文京シビックセンター26階 スカイホール
- ◆ 発表 第2（第三中、茗台中ほか）・第6（第十中ほか）・第9（本郷台中ほか）の3ブロック
- ◆ 講演 「保幼小中連携が果たす役割」 講師 千葉大学教育学部教授 松崎 洋子 先生

## 早朝の体育的活動「RUNRUN倶楽部」がスタートしました

東京都教育委員会では、他の道府県との比較で東京都の中学生の体力が極めて低位であることから、各区市町村において中学生の体力向上をリードする中学校1校を「スーパーアクティブスクール」として指定し、体力向上を図るための指導法の工夫や運動に親しむ習慣の確保等を研究し、バランスのとれた体力向上の取組等を推進することとしており、文京区では本校がその指定を受けました。体力向上を目指すには、運動をする空間、時間、仲間といういわゆる三つの「間」の確保が重要であると言われています。本校ではその実現に向けた取組として、希望者が早朝に運動に取り組む「RUNRUN倶楽部（ランランクラブ）」を創設しました。現在のところ、全校で30人程度の登録があり、活動日には常時20人前後の生徒が参加してランニングやジョギング、様々な運動に楽しく取り組んでいます。

各自の主体的な活動が基本となりますので、よろしければ保護者、地域の方もぜひご参加いただき、地域ぐるみで楽しく運動に取り組むことができたらとてもありがたく存じます。PTA顧問の武智さんもこの趣旨に賛同していただき、すでに何回も参加していただいています。皆さんもぜひお気軽にご参加ください。



九中生のみなさんへ 「ランランクラブ」募集のご案内

みんなで気軽に体を動かそう！

**RUNRUN倶楽部**  
**参加者募集中！**

「走ってランラン！」 「動いてルンルン！」  
自分のペースで、楽しく健康・体力づくり！

（鍛えたくて「ガンガン」走りたい人も大歓迎！）

- 校庭で、それぞれの力や好みに応じてランニングやウォーキング、軽運動に取り組みます（雨天中止）。
- <参加自由>九中生なら誰でも参加できます。

<月・木・金曜日の朝7時15分から7時45分まで>

※ 詳しい内容は、学校にお問い合わせください [☎3821-7178/担当：小椋校長]